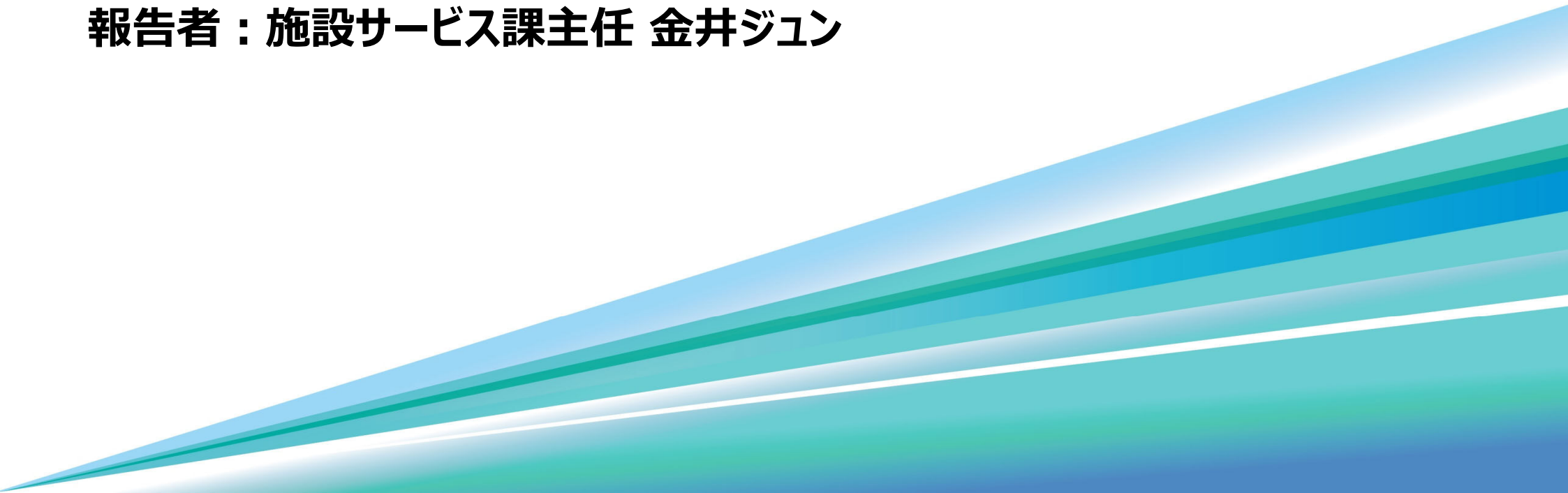


令和6年度 神奈川県介護生産性向上推進活動支援事業

特別養護老人ホーム ビオラ市ヶ尾

報告者：施設サービス課主任 金井ジュン



施設概要

- 施設名

特別養護老人ホーム ビオラ市ヶ尾

- 住所

神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町 25-6

- 施設概要

ビオラ市ヶ尾は、特別養護老人ホームと地域ケアプラザが併設している施設です。特別養護老人ホームでは、ユニットケアの理念を掲げて、介護サービスを提供しています。また、24時間シートを導入し、その方らしい生活に近づけるように支援させていただきます。24時間看護職員が、常駐しています。健康管理や吸引やインシュリンなど昼間と同等な医療対応、また、お看取りの対応が可能です。

外観

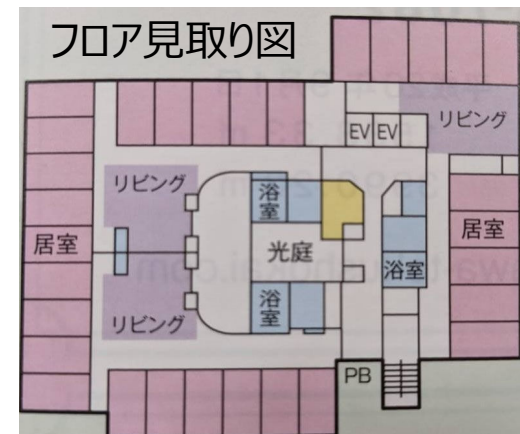


居室



リビング

フロア見取り図



プロジェクトの概要

- **応募した理由**

業務改善について取り組む必要性を感じ、行動に移したタイミングで今回の事業の情報を知り、活動的にも費用的にもサポートを受けられるとのことで、応募しました。

- **プロジェクトメンバーの紹介**

業務改善委員会を設置。施設長、介護主任、ユニットリーダー、介護士、看護師等がメンバー

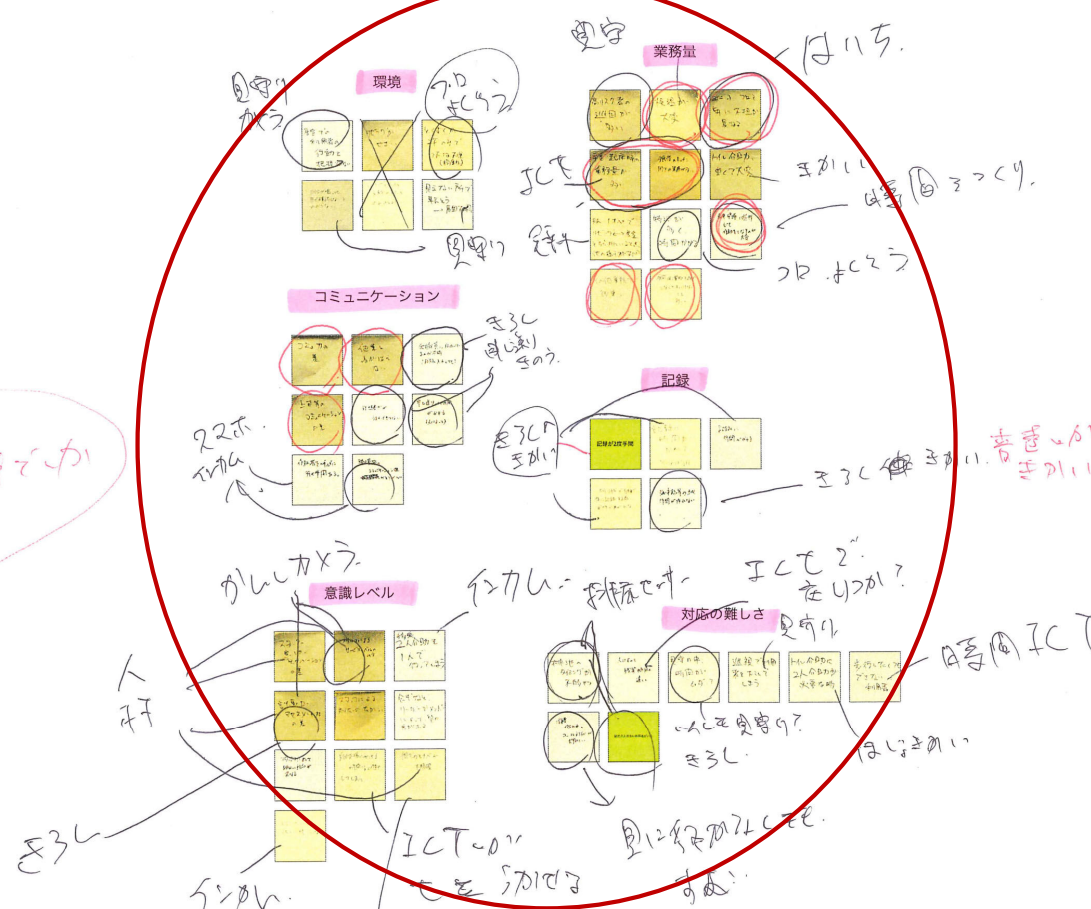
- **施設やメンバーの特徴**

これまでビオラ市ヶ尾において法人理念である“幸せの創造”を達成するにはどうすればよいか？サービスの質向上について様々な取り組みを行い、“安心して過ごしていただける”ために最も重要なことは何なのか？たどり着いたのは、“一人一人が利用者様とかかわるうえでの立ち居振る舞い”だと気づきました。そして、そのためにはとにかく“働きやすい環境を整える”という事が必要だと痛感しました。

ビオラ市ヶ尾は、私たち一人一人が、利用者さまに安心していただけるよう行動できる、そのためにも私たちの働きやすい環境を整える、という事を目指している施設です。

研修時に想定した施設の課題

● 研修時に考えた施設の課題、因果関係図



ポストイットにあげていった課題を因果関係で結ぼうとしましたが、数が多く、複雑になり、うまくいきませんでした。

被っている内容を削ったうえで、

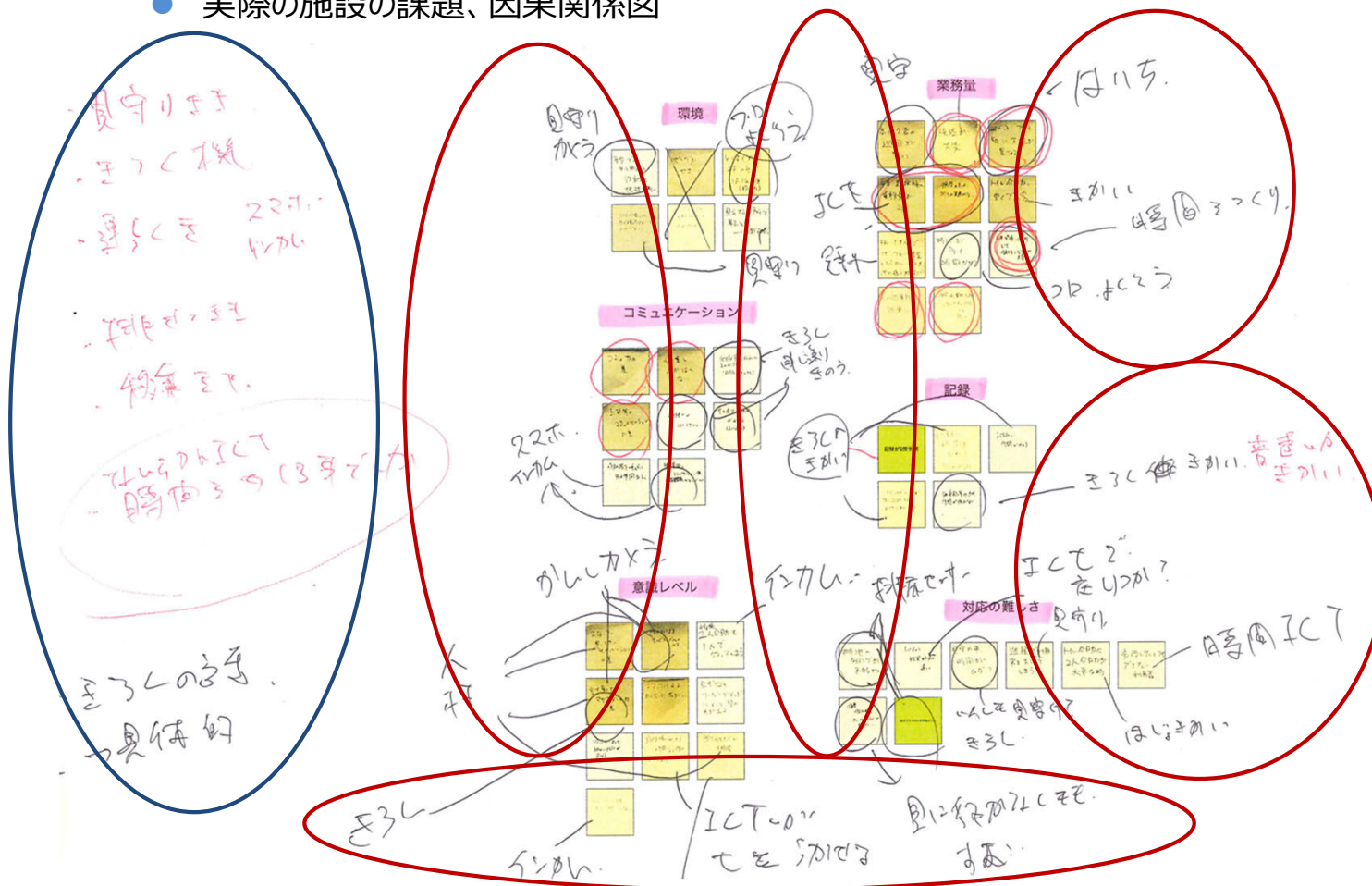
①環境②業務量③コミュニケーション

④記録⑤意識レベル⑥対応の難しさ

に分けました。

実際の施設の課題と対応策

● 実際の施設の課題、因果関係図



委員会に持ち帰り、それぞれの課題に対してどのような解決方法があるか？

(赤丸部分) 意見を出していき、共通する解決策を考えました。

課題としてまとめたのは、

・時間的な無理の解消・効率化、という事になりました。

時間的な無理を解消・効率化ができればそのほかの課題も順に解決していける、という事になります。

加えて、その時間をつくるには、どのようなICT機器によって実行できると思われるか？ 意見を出していきました。

(青丸部分)

導入する機器と、機器を使用したときに想定される効果

解決すべき課題	課題を解決する機器	選定理由	導入時に必要な工夫
時間を生み出す	HitomeQ(見守りセンサー)とそれに付随する機器(iPhone等)	・見守り、巡回にかかる時間を解消できる ・効率的なアセスメント ・夜勤の人員を日勤に回せる可能性	丁寧な説明(方針等) 機器の理解、操作方法の習熟のためのサポート等 無理のない運用
	記録システム(来年度以降導入予定)	・記録の作業、共有が効率化 ・HitomeQと連動することで、様々な効率化	選定にあたって、最低限解決が必要な課題の明確化 機器の理解、操作方法の習熟のためのサポート等

今後の課題

- **丁寧な説明（方針等）**

何のために機器を導入するのか？導入することでどうなるのか？という事を、委員会発信に任せるのではなく、責任者から直接周知することを心掛けた。

- **機器の理解、操作方法習熟のためのサポート等**

業者の協力のもと、導入前の個別&集合研修や、導入後の個別サポートを行い、適切に運用できるようにする。

- **無理のない運用**

個々の習熟状況や、発生した課題に応じて、適切なルール作り、運用していく。